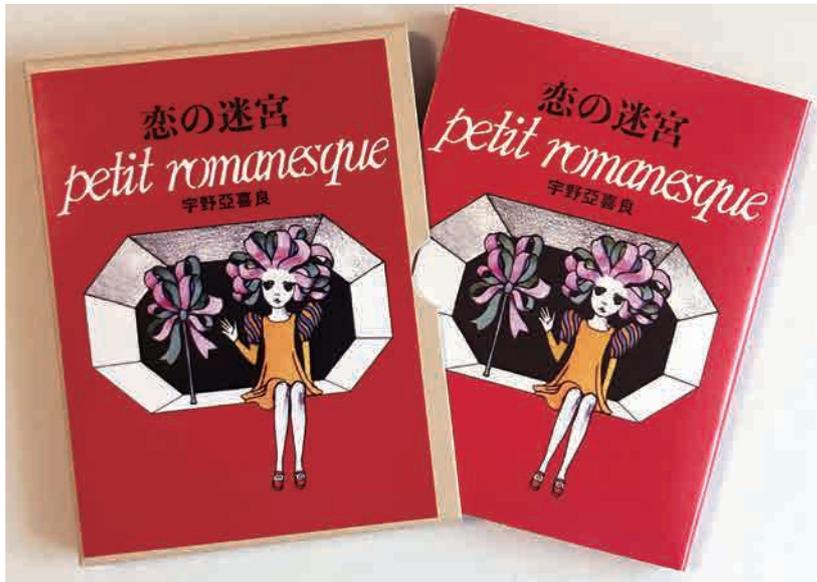


6月上旬配本予定 50年前の幻の「豆本」詩画集 復刻！



宇野亞喜良 『恋の迷宮』



サンリオが山梨シルクセンターとして、詩画集を出版していた1960年代～70年代。本体 10.5 × 8cm の手のひらにすっぽり入るハードカバーの本が函入りで「ヤマナシ・ミニブック・シリーズ」として刊行されていました。この度、その中から宇野亞喜良が手がけた1968年刊の『恋の迷宮』を復刻。本書は絵だけでなく、詩も宇野によるもので、宇野ならではの言葉のセンスで綴られた詩に、60年代の鮮烈なイラストレーションが添えられています。

小さい本ゆえ、当時の製本も大変だったと推測されますが、復刻に関しても、製本所を探すことが最も困難でした。通常の製本機械では対応できず、結果、製本、函の制作、シール貼はすべて手作業。その点でも珍しい本になっています。

宇野亞喜良 (うの・あきら) / 1934 -
 イラストレーター、アートディレクター。エッセイ、舞台美術、キュレーションも手がける。カルピス食品工業、日本デザインセンター、スタジオ・イルフィルを経てフリー。寺山修司「天井桟敷」のポスターなど昭和期の日本グラフィック界のカリスマ的存在であり、現在に至るまで第一線で活躍。60年代からノスタルジックで絢爛華麗な作品を生み出しているが、写実的なポートレートや時代小説の挿絵で見せる躍動感あるタッチなど、表現の幅は広く、近年は少女モチーフの人氣が高い。著書に絵本『あのこ』(今江祥智 / 文)、作品集『宇野亞喜良クロニクル』など。

収録詩
 「月は泣いた」「けしは立ったままで死んだ」「火曜日の朝の事件」「そのとき空は」「くず屋さん」「マッカナバラガ」「ナイト・マスク」「白い猫が空を歩く」「歌う少女」「世界でいちばん」「ゆるる老婆のロバの背中中」「お月さまとキャンデー」「あのこに会いたい」「さよなら」

判型：10.5cm × 8cm / 32ページ
 仕様：上製本 / 手製本 / 函入り
 価格：1,800円＋税 発行：888 ブックス
 ISBN978-4-908439-10-0 C0071



▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX:03-3721-1922 mail : info@tsubamebook.com tel : 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

書店印 (番線印)	新刊 888 (ハチミツ) ブックス	mail : 888books.art@gmail.com 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
ご注文数 ご担当： 様	恋の迷宮 / 宇野亞喜良 価格：1800円＋税 ISBN978-4-908439-10-0 C0071	